

配置薬の見直しを行います

例年通り、救急の日(9/9)に外来配置薬・病棟配置薬の見直しを行います。各診療科・病棟におかれましては、在庫薬品が効率よく管理できるよう、種類・数量の見直し、不要な配置薬の削除にご協力ください。

新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和8年7月14日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和8年8月6日(木)からオーダ開始しました。

「水溶性プレドニン 10 mg、20 mg」 「リンデロン注 2 mg(0.4%)、4 mg(0.4%)」 限定出荷のお知らせ

合成副腎皮質ホルモン剤「水溶性プレドニン 10 mg」、「水溶性プレドニン 20 mg」、「リンデロン注 2 mg(0.4%)」、「リンデロン注 4 mg(0.4%)」におきまして、2025年11月から出荷量が減少しており、安定した入荷が厳しい状況となっております。

この度、今まで以上に供給量を確保することが厳しい状況となり、2026年8月から出荷量がさらに減少する見込みとなっております。

そのため、必要最小限のオーダをしていただき、漫然とした使用を避けるようお願いします。また、可能な場合は適応を確認の上、内服製剤への切り替えをご検討ください。ご協力よろしくお願いします。

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

「シングレア細粒 4 mg」オーダ停止のお知らせ

ロイコトリエン受容体拮抗薬「シングレア細粒 4 mg」につきまして、諸般の事情により販売停止となりました。

このたび、院内在庫が欠品となることから2026年7月23日より処方オーダを停止しました。

当該薬剤の代替薬として、7月23日より『モンテルカスト細粒 4 mg「ニプロ」』のオーダを開始しました。

「リポバス錠 5」オーダ停止のお知らせ

HMG-CoA還元酵素阻害剤「リポバス錠 5」(院外専用医薬品)につきまして、諸般の事情により販売停止となりました。

このたび、経過措置医薬品に移行していることから、2026年7月24日より処方オーダを停止しました。

当該薬剤の代替薬として、7月24日より『シンバスタチン錠 5 mg「SW」』のオーダを開始しました。

中東情勢に伴う軟膏瓶の入荷遅延による「白色ワセリン」代替運用への移行について

2026年7月17日にお知らせしましたとおり、医薬品容器（軟膏瓶）の入荷遅延がさらに深刻化しており、院内在庫が非常に逼迫している状況です。

本件を受け、当院においては7月17日より、外用剤処方の際には、可能な限り「外用剤混合指示」を外し、別剤（それぞれのチューブのまま）での処方をご検討いただいています。

この度、軟膏基剤「白色ワセリン」につきましても、軟膏瓶での払い出しが困難な状況となりましたので、7月29日より「白色ワセリン」の処方オーダーを一時停止しました。

当該薬剤の代替薬として、購入可能な25gチューブ『白色ワセリン「ケンエー」』のオーダーを7月29日より開始しました。

オーダー単位は現行の「g」ですが、払い出しの際はできるだけチューブでの払い出しとします。

なお、25g単位での処方にご協力をよろしくお願いします。

例）白色ワセリン「ケンエー」 50g を処方した場合

払い出しは25gチューブ2本となります。

「ケンブラン吸入粉末溶解用 100 mg」オーダー停止のお知らせ

コリン作動薬気道過敏性検査用メタコリン塩化物吸入液「ケンブラン吸入粉末溶解用 100 mg」につきまして、諸般の事情により販売停止となりました。

このたび、院内在庫が欠品となることから2026年7月30日より処方オーダーを停止しました。

当該薬剤の代替薬として、7月30日より「プロボコリン吸入粉末溶解用 100 mg」のオーダーを開始しました。

「プロスタルモン・F 注射液 1000」オーダー一時停止のお知らせ

プロスタグランジンF_{2α}製剤「プロスタルモン・F 注射液 1000」につきまして、製品の品質に関わる事案が発生した為、出荷停止となりました。

ロット番号に関わらず本製品の使用を控える必要があることから、2026年8月1日よりオーダーを一時停止しました。

今後の状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

『ナファモスタットメシル酸塩注射用 50 mg「AY」』オーダー停止のお知らせ

蛋白分解酵素阻害剤『ナファモスタットメシル酸塩注射用 50 mg「AY」』につきまして、販売名（屋号）変更に伴い、新販売名が『ナファモスタットメシル酸塩注射用 50 mg「YD」』となりました。

このたび、旧販売名品の院内在庫が欠品となることから2026年7月28日より処方オーダーを停止しました。

なお、新販売名品『ナファモスタットメシル酸塩注射用 50 mg「YD」』を7月28日のオーダー入力分から使用開始しました。

『アルギニン点滴静注 30 g「AY」』オーダー停止のお知らせ

下垂体機能検査薬『アルギニン点滴静注 30 g「AY」』につきまして、販売名（屋号）変更に伴い、新販売名が『アルギニン点滴静注 30 g「YD」』となりました。

このたび、旧販売名品の院内在庫が欠品となることから2026年8月11日より処方オーダーを停止しました。

なお、新販売名品『アルギニン点滴静注 30 g「YD」』を8月11日のオーダー入力分から使用開始しました。

「注射用サイメリン 50 mg」オーダー一時停止のお知らせ

抗悪性腫瘍剤「注射用サイメリン 50 mg」におきまして、諸般の事情により出荷停止となりました。

このたび、院内在庫が欠品となることから 2026 年 7 月 29 日に処方オーダーを一時停止しました。

なお、本剤はレジメンオーダー上で登録されていますので、本件により「注射用サイメリン 50 mg」を含むレジメンオーダーも一時停止しております。

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

N-ニトロソ-メグルミンの検出に伴う「ガストログラフィン経口・注腸用」 オーダー一時停止 および 代替運用の開始 について

水溶性消化管造影剤アミドトリゾ酸ナトリウムメグルミン液「ガストログラフィン経口・注腸用」におきまして、2026 年 4 月 28 日および 6 月 3 日にお知らせしましたとおり、欧州当局のガイドラインに準じて算出された暫定管理値を超えるニトロソアミン化合物である N-ニトロソ-メグルミン(N-Nitroso-meglumine)が検出されたことから、限定出荷が継続しており、安定した入荷が厳しい状況となっております。

このたび、院内在庫が欠品となることから 2026 年 8 月 11 日に処方オーダーを一時停止しました。

また、本件を受け、当院においては、新規医療審査室の承認を受けた診療科についてのみ『(内服)イオパミドール 370 注シリンジ 100 mL「F」』の代替使用を 8 月 5 日より開始しました。

本来は注射薬オーダーの薬剤ですが、本件に伴う代替薬としての使用は内服薬オーダーでの払い出しとします。

薬剤名		8 月 5 日以降	処方区分
イオパミドール 370 注シリンジ 100 mL「F」	→	既存の注射薬としての使用	注射薬
(内服)イオパミドール 370 注シリンジ 100 mL「F」	→	本件の代替薬としての使用	内服薬

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

「ポリフル錠 500 mg」「ポリフル細粒 83.3%」出荷制限解除とオーダー再開のお知らせ

過敏性腸症候群治療剤「ポリフル錠 500 mg」「ポリフル細粒 83.3%」において、製造委託先工場における事象のため、出荷量が制限されていましたが、このたび通常どおりの供給が再開されることとなりました。

これに伴い、8 月 7 日からオーダーを再開いたしました。

「ワゴスチグミン注 0.5 mg」オーダー停止のお知らせ

副交感神経興奮剤「ワゴスチグミン 0.5 mg」につきまして、諸般の事情により販売停止となりました。

このたび、院内在庫が欠品となることから 2026 年 8 月 4 日より処方オーダーを停止しました。

本製品において、購入可能な同成分・同剤形の製剤はありません。

販売中止のお知らせ

◎アリナミン F50 注（一般名：フルスルチアミン塩酸塩）＜ビタミン B₁ 製剤＞

在庫消尽済

経過措置期間満了日：2027 年 3 月 31 日（予定）

◎クラフォラン注射用 1 g（一般名：セフトாகキシムナトリウム）＜セフェム系抗生物質＞

在庫消尽時期：2026 年 12 月（予定）

経過措置期間満了日：2027 年 3 月 31 日（予定）

◎ロスバスタチン OD 錠 5 mg「DSEP」（一般名：ロスバスタチンカルシウム）＜HMG-CoA 還元酵素阻害剤＞

在庫消尽時期：2027 年 2 月（予定）

経過措置期間満了日：2028 年 3 月 31 日（予定）

◎ラニラピッド錠 0.05 mg（一般名：メチルジゴキシン）＜強心配糖体製剤＞

在庫消尽時期：2027 年 3 月（予定）

経過措置期間満了日：2029 年 3 月 31 日（予定）

◎ロスバスタチン OD 錠 2.5 mg「DSEP」（一般名：ロスバスタチンカルシウム）＜HMG-CoA 還元酵素阻害剤＞

在庫消尽時期：2027 年 4 月（予定）

経過措置期間満了日：2028 年 3 月 31 日（予定）

◎ニフェジピンカプセル 10 mg「サワイ」（一般名：ニフェジピン）＜Ca 拮抗剤＞

在庫消尽時期：2028 年 3 月（予定）

経過措置期間満了日：2028 年 3 月 31 日（予定）

包装変更等のお知らせ

◎ソルデム 3AG 輸液 500 mL＜維持液＞

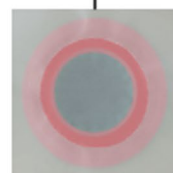
- ・製品本体（バッグ）の仕様および表示デザインの変更
- ・ゴム栓部のシール（袋口シール）を「透明」から「白色（不透明）」に変更

変更前



袋口
シール有

変更後



袋口
シール有

効能・効果、用法・用量等追加・改訂のお知らせ

*下線部改訂

◎献血ヴェノグロブリンIH10%静注0.5 g/5 mL、2.5 g/25 mL、5 g/50 mL、10 g/100 mL

(一般名:ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)＜血漿分画製剤＞

【効能又は効果に関連する注意】

＜慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の運動機能低下の進行抑制＞

- 5.6 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の患者に対して静注用人免疫グロブリン製剤を投与し筋力低下の改善が認められたものの、症状の再発・再燃を繰り返している患者にのみ投与すること。

*追加部抜粋

◎ゼオマイン注用 50 単位、200 単位(一般名:インコボツリヌストキシン A)＜A 型ボツリヌス毒素製剤＞※臨時採用医薬品

【効能・効果】痙性斜頸、眼瞼痙攣

【用法・用量】＜痙性斜頸＞

通常、成人にはインコボツリヌストキシン A として以下の用法及び用量で緊張筋^{注3)}に筋肉内注射する。緊張筋が複数ある場合は、分割して投与する。ただし、対象となる緊張筋の種類や数により、投与量は必要最小限となるよう調節する。

- ・初回投与の場合には合計で 120 単位を上限として投与する。痙性斜頸に対して他のボツリヌス毒素製剤による治療経験のある患者には、過去の用法及び用量を参考に合計で 500 単位を上限として投与する。
- ・再投与は前回の効果が減弱した場合に合計で 500 単位を上限として可能であるが、投与間隔は 8 週以上とすること。なお、症状に応じて投与間隔は 6 週まで短縮できる。

注 3) 緊張筋：胸鎖乳突筋、僧帽筋、僧帽筋前縁、頭板状筋、下頭斜筋、頭半棘筋、頸半棘筋、肩甲挙筋、斜角筋、広頸筋、傍脊柱筋等

＜眼瞼痙攣＞

通常、成人にはインコボツリヌストキシン A として以下の用法及び用量で緊張筋^{注4)}に筋肉内注射する。緊張筋が複数ある場合は、分割して投与する。ただし、対象となる緊張筋の種類や数により、投与量は必要最小限となるよう調節する。

- ・初回投与の場合には合計で 50 単位（片側あたり 25 単位）を上限として投与する。眼瞼痙攣に対して他のボツリヌス毒素製剤による治療経験のある患者には、過去の用法及び用量を参考に合計で 100 単位（片側あたり 50 単位）を上限として投与する。
- ・再投与は前回の効果が減弱した場合に合計で 100 単位（片側あたり 50 単位）を上限として可能であるが、投与間隔は 6 週以上とすること。

注 4) 緊張筋：眼輪筋、皺眉筋、鼻根筋、鼻筋、前頭筋、大頬骨筋、小頬骨筋、上唇鼻翼挙筋、上唇挙筋等

【用法及び用量に関する注意】

＜効能共通＞

7.1 複数の適応に本剤を同時投与する場合には、以下の点に留意した上で、それぞれの効能又は効果で規定されている投与量の上限及び投与間隔を厳守すること。

- ・唾液腺内及び筋肉内への同時投与：唾液腺内と筋肉内に本剤を同時投与した経験はないため、慢性流涎とその他の適応に対する同時投与は避けること。
- ・上肢痙縮及び下肢痙縮に対する同時投与：合計で 800 単位を上限とし、患者の状態に応じて徐々に増量する等、慎重に投与すること。海外臨床試験において、上肢痙縮及び下肢痙縮に 400 単位から 200 単位ずつ増量し、合計 800 単位までを同時に投与した経験はあるが、国内臨床試験では、上肢痙縮及び下肢痙縮に本剤を同時投与した経験はない。
- ・その他の複数の適応に対する筋肉内への同時投与：その他の複数の適応に対して本剤を同時に筋肉内投与した経験はないため、同時投与しないことが望ましい。やむを得ず投与する場合は、合計で 500 単位を上限とし、患者の状態に応じて徐々に増量する等、慎重に投与すること。

効能・効果、用法・用量等追加・改訂のお知らせ

*追加部抜粋

【用法及び用量に関する注意】

＜痙性斜頸＞

- 7.11 本剤と他のボツリヌス毒素製剤の同時投与は原則として避けること。本剤と他のボツリヌス毒素製剤を同時投与した際の、安全性及び有効性は確立していない。
- 7.12 緊張筋の同定が困難な場合には、筋電計、超音波検査等を用いて注意深く目標とする部位を同定すること。
- 7.13 本剤注射により投与筋の緊張が低下したのち、その協働筋側の緊張が亢進し、異常姿勢を来すことがあるため、初回投与以降では緊張が亢進している筋を注意深く同定し、投与すること。
- 7.14 筋ごとの適切な部位及び投与量に留意し、注射すること。臨床成績等から、以下のような投与筋、投与量及び投与部位数が推奨されている。

投与筋	初回投与量 (単位/部位)	再投与量 (単位/部位)	投与部位数 (部位)
胸鎖乳突筋	15-120	15-120	2-4
僧帽筋	20-120	20-200	2-6
僧帽筋前縁	20-120	20-180	1-4
頭板状筋	20-120	20-300	2-15
下頭斜筋	10-60	10-90	1-3
頭半棘筋	10-80	10-100	1-6
頸半棘筋	10-50	10-50	2-4
肩甲挙筋	10-80	10-100	1-6
斜角筋	10-60	10-90	1-3
広頸筋	10-80	10-80	2-8
傍脊柱筋	50-120	50-300	1-21

＜眼瞼痙攣＞

- 7.15 本剤と他のボツリヌス毒素製剤の同時投与は原則として避けること。本剤と他のボツリヌス毒素製剤を同時投与した際の、安全性及び有効性は確立していない。
- 7.16 眼瞼下垂があらわれることがあるので、上眼瞼挙筋周囲への投与を避けること。
- 7.17 本剤の薬理作用である筋弛緩作用が予想以上に強く発現した結果とみられる閉瞼不全、眼瞼下垂等の副作用があらわれた場合には、再投与時の用量を適宜減量すること。
- 7.18 筋ごとの適切な部位及び投与量に留意し、注射すること。臨床成績等から、以下のような投与筋、投与量及び投与部位数が推奨されている。

投与筋	初回投与量 (単位/部位)	再投与量 (単位/部位)	投与部位数 (部位)
眼輪筋	1.25-2.5	1.25-5.0	8-12
皺眉筋	1.25-5.0	1.25-5.0	2
鼻根筋	1.25-5.0	1.25-5.0	1
鼻筋	1.25-2.5	1.25-2.5	2
前頭筋	1.25-2.5	1.25-5.0	2
大頬骨筋	1.25	1.25-2.5	2
小頬骨筋	1.25	1.25-2.5	2
上唇鼻翼挙筋	1.25	1.25-2.5	2
上唇挙筋	1.25	1.25-2.5	2

適正使用のお願い

◎アバステン点滴静注用 100 mg/4 mL、400 mg/16 mL(一般名:ベバシズマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤/抗 VEGF ヒト化モノクローナル抗体＞

本剤は下記のとおり、胎児への影響（催奇形性）が確認されています。2026 年 6 月に適応追加となった神経線維腫症 2 型は 10～20 歳代の若年層での発症が多く、長期の投与が想定される疾患であることから、特に妊娠可能な女性患者さんへの安全対策が重要になります。

つきましては、以下の点についてご注意ください。

- 妊娠している、または妊娠の可能性が否定できない場合には、原則として投与を避けてください。
- 治療中に妊娠が判明した場合は、速やかに医師へご相談いただくよう患者さんへご指導ください。
- 妊娠する可能性のある女性患者さんには、治療期間中および最終投与後 6 カ月間、確実な避妊が必要であることを十分にご説明ください。

胎児への影響（催奇形性）について

- ・ 本剤は抗 VEGF 作用により、胎児の血管新生を阻害する可能性があり、動物試験では胎児の成長停止や奇形が確認されています。
- ・ ヒトにおいても、妊娠中に曝露された症例で先天異常が報告されています。

■本剤投与開始前および投与中の確認と説明

- ・ 本剤投与開始前および投与中において、妊娠の有無および妊娠希望の有無を必ずご確認ください。
- ・ 患者さんに「アバステンハンドブック（NF2 版）」をお渡しいただき、以下について患者さん本人およびご家族に十分説明してください。
 - 妊娠に関するリスク
 - 避妊の必要性和期間（治療期間中および最終投与後 6 カ月間）
 - 妊娠が判明した場合に速やかに医師に相談すること

※本剤投与開始時のみならず、投与中・投与終了後も継続した注意喚起をお願いします。

限定出荷解除のお知らせ

◎ソセゴン注射液 15 mg(一般名:ペンタゾシン)＜鎮痛剤＞

2026 年 7 月 1 日より限定出荷解除

◎バクタミン注(一般名:トリメプリム、スルファメキサゾール)＜カリニ肺炎治療剤＞

2026 年 7 月 23 日より限定出荷解除

◎ポリフル錠 500 mg、ポリフル細粒 83.3%(一般名:ポリカルボフィルカルシウム)＜過敏性腸症候群治療剤＞

※細粒は臨時採用医薬品

2026 年 8 月 4 日より限定出荷解除

販売移管のお知らせ

◎ベナンボックス注用 300 mg(一般名:ペンタミジン)＜カリニ肺炎治療剤＞

	2026 年 7 月 31 日まで	2026 年 8 月 1 日以降
製造販売元	サノフィ株式会社	株式会社 Medical Parkland
情報提供会社		

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡いたします。

◎ケフレックスカプセル 250 mg(一般名:セファレキシン)＜経口用セフェム系抗生物質製剤＞

出荷量：B 出荷量減少

製造販売業者の対応状況：②限定出荷（自社の事情）

◎ジラゼプ塩酸塩錠 50 mg「サワイ」(一般名:ジラゼプ塩酸塩)＜心・腎疾患治療剤＞

出荷量：A 出荷量通常

製造販売業者の対応状況：②限定出荷（自社の事情）

◎HMG 注射用 150 単位「F」(一般名:ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン(ヒト尿由来))＜ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン剤＞

◎プロスタグランジン E₂ 錠 0.5 mg「科研」(一般名:ジノプロストン)＜陣痛誘発・促進剤＞

出荷量：A 出荷量通常

製造販売業者の対応状況：③限定出荷（他社品の影響）

【参考情報】

日薬連発第 137 号『「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義」の見直しについて』の定義に基づく

「テブダック点滴静注用40 mg」使用期限逆転品の流通に関するお知らせ

抗悪性腫瘍剤／組織因子標的抗体微小管障害薬複合体「テブダック点滴静注用 40 mg」につきまして、製品調達上の都合により、すでに出荷されている製品より 1 か月短い使用期限（2029 年 2 月）の製品が出荷されることとなりました。当該製品は、2026 年 8 月下旬ごろより出荷を開始する予定であり、今後、使用期限の異なる製品が一時的に混在して流通いたします。なお、本件は製品の品質に起因するものではありません。

隔壁開通が必要なバッグ製剤使用時には注意してください

ビーフリード輸液やエルネオパ NF 輸液、セファゾリンバッグなどの製剤では、投与前に隔壁を開通する必要があります。特にエルネオパ NF 輸液のように複数の小室に分かれている製剤では、小室がすべて開通しているか確認してください。吊穴に開通確認のラベルが貼付されている製剤では開通確認後にラベルをはがすこと、薬剤投与直前に再度開通を行えているか確認することを徹底するようお願いいたします。

長期臨床実習が始まりました

2026 年 8 月 17 日から 2026 年 10 月 31 日まで、薬学部 5 年生を対象とした長期臨床実習（10 名）を行います。薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の取得に精力的に取り組んでいきます。病棟業務・服薬指導等で病棟を訪れた際にはよろしくお願いします。

院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
イムラン錠	薬剤性汎血球減少

本剤投与中は定期的に血液検査をおこない、汎血球減少を伴う貧血、出血傾向、感染症などの発現に注意してください。汎血球減少が疑われる場合には、ただちに被疑薬を中止し、適切な支持療法をおこなってください。

★コルヒチンを痛風発作の緩解に使用する際の安全対策について

コルヒチン（以下「本剤」という。）は、1964年11月に製造販売が開始され、現在は痛風発作の緩解及び予防、家族性地中海熱を効能・効果として使用されている。

近年、国内において、1日量1.5 mgを超える高用量投与後に本剤による中毒症状を認め、死亡に至った症例が複数報告されている。このことを踏まえ、令和8年2月24日に電子化された添付文書の使用上の注意について改訂を指示し、注意喚起を行うとともに、本剤の安全対策をより確実なものとするために、令和8年6月2日に「痛風発作の緩解」における「用法及び用量」の承認事項一部変更を承認した。

本稿では、今回対応した本剤に関する一連の安全対策について紹介する。

★グルコースモニタシステムの適正使用について

グルコースモニタシステム（CGM）は、間質液中のグルコース濃度を持続的に測定し、血糖変動の把握を可能にする医療機器であり、血糖自己測定（SMBG）と比較して日常的な血糖管理に大きな利点を有する。一方で、CGMの測定値は原理上、血糖値との乖離が生じ得るため、それ単独でインスリン投与等の処置を行うことは推奨されていない。CGMを安全かつ適切に活用するためには、企業・学会・行政が連携し、使用者への理解促進と適正使用の徹底をすることが不可欠である。本稿では、CGMの適正使用に関する情報について紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

* 下線部追加改訂

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介します。

◎ドキシルピシン塩酸塩（商品名：ドキシル注 20 mg）

【重要な基本的注意】腎臓限局型血栓性微小血管症があらわれることがあるので、定期的に血液検査、腎機能検査、尿検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。

【重大な副作用】腎臓限局型血栓性微小血管症

※国内症例 1例（うち、死亡0例）

◎アテゾリズマブ（遺伝子組換え）（商品名：テセントリク点滴静注 1200 mg、840 mg）※840 mg は臨時採用医薬品

【副作用】血管炎

【重大な副作用】大型血管炎、中型血管炎、小型血管炎〔抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎、IgA 血管炎、皮膚血管炎を含む〕があらわれることがある。

※国内症例 6例（うち、死亡0例）

◎ゲセルクマブ（遺伝子組換え）（商品名：トレムフィア皮下注 100 mg シリンジ、トレムフィア皮下注 200 mg ペン）

【重要な基本的注意】自己免疫性肝炎等の肝機能障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。

【副作用】肝機能障害

【重大な副作用】自己免疫性肝炎等の肝機能障害があらわれることがある。

※国内症例 3例（うち、死亡0例）

◎ニボルマブ（遺伝子組換え）（商品名：オプジーボ点滴静注 240 mg、20 mg）

【副作用】血管炎

【重大な副作用】大型血管炎、中型血管炎、小型血管炎〔抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎、IgA 血管炎、皮膚血管炎を含む〕があらわれることがある。

※国内症例 6例（うち、死亡0例）

【副作用】血栓性微小血管症

【重大な副作用】血栓性血小板減少性紫斑病等の血栓性微小血管症があらわれることがある。破砕赤血球を伴う貧血、血小板減少、腎機能障害等が認められた場合には、適切な処置を行うこと。

※国内症例 4例（うち、死亡0例）

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例のうち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名(薬品名)	主な改訂内容
エソメプ ラゾールマグネシウム水和物(エソメプ ラゾールカプセル「日新」、ネシウム懸濁用顆粒分包) ホノプ ラザンフマル酸塩(タケヤブ錠) ラベプ ラゾールナトリウム(ラベプ ラゾール Na 塩錠「明治」) ランソプ ラゾール(経口剤)(ランソプ ラゾール OD 錠「トワ」、ランソプ ラゾール OD 錠「ケミファ」、タケロン OD 錠 15、タケロン OD 錠 30) *タケロンは院外専用医薬品 アスピリン・ホノプ ラザンフマル酸塩(キャブピリン配合錠)*院外専用医薬品	※重要な基本的注意:追記 <u><効能共通>本剤の長期投与により低マグネシウム血症があらわれることがあるので、本剤を長期投与する際は、定期的に血中マグネシウム濃度を測定すること。</u> ※重大な副作用:追記 <u>低マグネシウム血症:本剤の長期投与により、QT 延長、痙攣、しびれ等を伴う低マグネシウム血症があらわれることがある。また、低マグネシウム血症に起因した低カルシウム血症、低カリウム血症等の電解質異常を伴う場合がある。これらの電解質異常が疑われる症状があらわれた場合には、血中マグネシウム濃度の測定を行い、異常が認められた場合は、マグネシウムの補充等の適切な処置を行うこと。</u>
オメプ ラゾールナトリウム(オメプ ラゾール注射用「日医工」) ランソプ ラゾール(注射剤)(タケロン静注用)	※重要な基本的注意:追記 <u>プロトンポンプインヒビターの長期投与により低マグネシウム血症があらわれることがあるので、プロトンポンプインヒビターを長期投与する際は、定期的に血中マグネシウム濃度を測定すること。</u> ※重大な副作用:追記 <u>低マグネシウム血症:プロトンポンプインヒビターの長期投与により、QT 延長、痙攣、しびれ等を伴う低マグネシウム血症があらわれることがある。また、低マグネシウム血症に起因した低カルシウム血症、低カリウム血症等の電解質異常を伴う場合がある。これらの電解質異常が疑われる症状があらわれた場合には、血中マグネシウム濃度の測定を行い、異常が認められた場合は、マグネシウムの補充等の適切な処置を行うこと。</u>
ゲセルケマブ(遺伝子組換え)(皮下注)(トレムフィア皮下注シリンジ、トレムフィア皮下注ペン)	※重要な基本的注意:追記 <u><効能共通>自己免疫性肝炎等の肝機能障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。</u> ※重大な副作用:追記 <u>肝機能障害:自己免疫性肝炎等の肝機能障害があらわれることがある。</u>
トキシソルビシン塩酸塩(リポソーム製剤)(トキシソル注)	※重要な基本的注意:追記 <u>腎臓限局型血栓性微小血管症があらわれることがあるので、定期的に血液検査、腎機能検査、尿検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。</u> ※重大な副作用:追記 <u>腎臓限局型血栓性微小血管症</u>
イキサゾミブクエン酸エステル(ニラカプセル)*3 mg は院外専用医薬品、4 mg は臨時採用医薬品	※重大な副作用:追記 <u>血栓性微小血管症:血栓性血小板減少性紫斑病、溶血性尿毒症症候群等の血栓性微小血管症があらわれることがある。破碎赤血球を伴う貧血、血小板減少、腎機能障害等が認められた場合には、適切な処置を行うこと。</u>

アデズリスマブ（遺伝子組換え）（テセントリク点滴静注）*840 mg は臨時採用医薬品 アベルマブ（遺伝子組換え）（バベンチオ点滴静注） 化リムマブ（遺伝子組換え）（ヤーボイ点滴静注液） セミアリマブ（遺伝子組換え）（リプタヨ点滴静注） デュルバムマブ（遺伝子組換え）（イミフィジ点滴静注） トレミマブ（遺伝子組換え）（ジグット点滴静注）	※重大な副作用：追記 <u>血管炎：大型血管炎、中型血管炎、小型血管炎〔抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎、IgA血管炎、皮膚血管炎を含む〕があらわれることがある。</u>
カルボプラチン（カルボプラチン注射液「NK」）	※重大な副作用：追記 <u>抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH）</u>
ニボルマブ（遺伝子組換え）（オプジーボ点滴静注）	※重大な副作用：追記 <u>血管炎：大型血管炎、中型血管炎、小型血管炎〔抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎、IgA血管炎、皮膚血管炎を含む〕があらわれることがある。</u> <u>血栓性微小血管症：血栓性血小板減少性紫斑病等の血栓性微小血管症があらわれることがある。破砕赤血球を伴う貧血、血小板減少、腎機能障害等が認められた場合には、適切な処置を行うこと。</u>
セフトレニドピロキシル（小児用）（マイアクトMS小児用細粒）	※重要な基本的注意：追記 <u>＜小児＞小児（特に乳幼児）において、本剤を含むピロキシル基を有する抗生物質（セフトレニドピロキシル、セファペンピロキシル塩酸塩水和物、セフトラムピロキシル、テビヘネムピロキシル）の投与後に、低カルシウム血症に伴う重篤な低血糖、痙攣、脳症等を起こすおそれがある。本剤の必要性を含む薬剤の選択や投与期間等については最新のガイドライン等を参考にする。また、痙攣、意識障害等の低血糖症状が認められた場合には、速やかに医療機関を受診するよう家族等に指導すること。</u>
テビヘネムピロキシル（オラヘネム小児用細粒）*院外専用医薬品	※重要な基本的注意：追記 <u>小児（特に乳幼児）において、本剤を含むピロキシル基を有する抗生物質（テビヘネムピロキシル、セフトレニドピロキシル、セファペンピロキシル塩酸塩水和物、セフトラムピロキシル）の投与後に、低カルシウム血症に伴う重篤な低血糖、痙攣、脳症等を起こすおそれがある。本剤の必要性を含む薬剤の選択や投与期間等については最新のガイドライン等を参考にする。また、痙攣、意識障害等の低血糖症状が認められた場合には、速やかに医療機関を受診するよう家族等に指導すること。</u>
組換えRSウイルスワクチン（アブリスボ筋注用）*自由診療医薬品	※重大な副反応：追記 <u>ギラン・バレー症候群：四肢遠位から始まる弛緩性麻痺、腱反射の減弱ないし消失等の症状があらわれることがある。</u>
抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン（サイテグロブリン点滴静注用）	※重大な副作用：追記 <u>血栓性微小血管症：破砕赤血球を伴う貧血、血小板減少、腎機能障害等があらわれることがある。</u>

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計5品目)

2026年8月6日オーダ開始

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	アムベルビスト静注シリンジ729	静注	5mL	－	4,930.0	ハリエル薬品	Gadoquatrane Hydrate 環状型非イオン性MRI用造影剤 ★磁気共鳴コンピュータ断層撮影における脳・脊髄造影、躯幹部・四肢造影 ★・本剤は1分子中に4つの環状型非イオン性Gdキレートをも有する四量体構造で、従来のGd造影剤よりも高い緩和度を示します。Gdを60 %低減した低用量でも、有効性の非劣性が検証されている。 ・Gd低用量で検査ができるため、腎性全身性線維症(NSF)や脳内Gd残存など、M造影剤に関連する潜在的リスクの軽減が期待されます。特に繰り返し造影検査を受ける患者、小児、腎機能低下患者において安全性が高いと考えられる。 ・用法用量の項目では従来製剤では記載がなかった「小児」の文言が明記された。 ・本剤は血液に近い浸透圧であるため、投与時の血管痛の軽減が期待される(従来製剤は浸透圧比は2 ⁶)。 【発売:2026/05/26】
			7.5mL	－	7098.0		
1	セプトカイン配合注カートリッジ271	注	－	劇	191.2	ジーシー昭和薬品	Adrenaline bitar trate、Articaine Hydrochloride 歯科用局所麻酔剤 ★脂溶性が高いため、組織への浸透が速く、特に歯科治療における深部組織への十分な麻酔が必要な場合に効果的と考える。特に根管治療(抜髄など)や外科的処置(埋伏智歯抜歯など)において、深部への浸透性および十分な麻酔深度が必要とされる症例に使用することを目的とする。 ★本剤は国内で発売されて約1.5年経過した製剤であることからガイドラインへの記載はまだない。ランダム化比較試験を対象としたメタアナリシス(Gong et al., BMC Anesthesiology, 2026; 26:335)では、リトカイン製剤とアルチカイン製剤の麻酔成功率は同等である一方、効果発現時間および作用持続時間に関しては、アルチカイン製剤の方がリトカイン製剤に比べて、発現がやや速く、持続時間がやや長いことが報告されている。このことから、侵襲度の高い症例においては、アルチカイン製剤が有用である可能性が示唆される。また、アルチカインは、約90 %が血中の非特異的エステラーゼですみやかに代謝されることから、主に肝臓で代謝されるリトカインよりも代謝が早いため、肝機能が低下している高齢者肝障害患者などに対しては有用であると考えられる。 【発売:2025/01/21】
1	ツカイザ錠50mg429	錠	50mg	劇	2,818.40□	ファイザー	Tucatinib Ethanolate 抗悪性腫瘍剤(HER2チロシンキナーゼ阻害剤) ★HER2陽性の再発又は転移性乳癌患者に対し、既存の抗HER2療法(トラスツズマブ、ペルツズマブ、T-DM1等)治療後に増悪を来した症例に対する治療として使用する。特に脳転移を有する症例を含め、有効な治療選択肢が限られる患者に対し、トラスツズマブおよびカペンシビンとの併用療法として使用し、腫瘍増殖の抑制および予後の改善を目的とする。 ★本薬剤(ツカイザ錠:ツカチンブ)は、HER2に対して高い選択性を有するチロシンキナーゼ阻害薬であり、従来の抗HER2薬治療後に再発・進行したHER2陽性乳癌において新たな治療選択肢となる薬剤である。 特に、脳転移を有するHER2陽性乳癌患者に対して有効性が示されており、既存治療では効果が限定的であった。中枢神経病変に対する治療成績の改善が期待される点が、本薬剤の大きな臨床的価値である。 また、トラスツズマブおよびカペンシビンとの併用により、全生存期間および無増悪生存期間の延長が報告されており、病勢コントロールの向上が期待できる。安全性についても、主な有害事象は下痢や肝機能障害などであり、適切な用量調整および支持療法により管理可能である。 経済性の観点においては高額な抗がん剤ではあるものの、既存治療抵抗性症例における治療効果および予後改善を考慮すると、治療選択肢の拡充という医療的価値は高く、妥当であると考えられる。 【発売:2026/04/21】
1	エンズプリング皮下注120mgオートインジェクター639	皮下注	120mg	劇	1,150,216.00□	中外製薬	Satralizumab(Genetical Recombination) pH依存の結合性ヒト化抗IL-6レセプターモノクローナル抗体 ★視神経脊髄炎スペクトラム障害(視神経脊髄炎を含む)の再発予防 ★視神経脊髄炎スペクトラム障害の再発予防を目的として既に使用されている生物学的製剤である。 既存のシリンジ製剤よりも投与方法が簡便であり、投与負担が期待される。 ※常備医薬品としてエンズプリング皮下注120mgシリンジの採用あり 【発売:2026/05/20】

⑤再生医療等製品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
5	プレヤンジ静注900	静注	－	－	35,096,343.0	ブリストル・マイヤーズ スクイブ	ヒト体細胞加工製品 ★再発難治性大細胞型B細胞リンパ腫、再発難治性濾胞性リンパ腫、再発難治性マントル細胞リンパ腫、再発難治性辺縁帯リンパ腫に対する治療目的 ★再発難治性大細胞型B細胞リンパ腫、再発難治性濾胞性リンパ腫、再発難治性マントル細胞リンパ腫、再発難治性辺縁帯リンパ腫の予後は不良であり、従来の治療では長期生存は困難であった。近年プレヤンジをはじめとしたCAR-T細胞療法が登場し、これらの疾患の予後が改善している。当院で既に採用されているCAR- T細胞療法であるイスカルタとは適応疾患や有効性、有害事象の頻度が異なり、患者の状態や病態に合わせてCAR-T細胞製剤を使い分けることでより多くの難治性B細胞性リンパ腫の患者を救命できることが期待される。山口県内では当院でしかCAR-T細胞療法を実施することができないため、山口県の血液診療を充実させるためにも本製剤の採用が必要と考える。 【発売:2021/05/01】

⑥臨時採用医薬品（合計3品目）

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	アリナミン注射液10mg 312	注	10mg	－	95.00□	武田テバ薬品	Prosultiamine プロスルチアミン注射液 ★嗅覚障害を訴える患者に対してアリナミンテストを実施する際に使用している ★もともと常備薬だったが、7月より破棄されるため、使用期限の2027年4月まで、嗅覚検査で使用したい。 ★アリナミンテストの唯一の検査薬 ※常備医薬品から臨時採用医薬品へ移行 【発売:1957/02/04】
6	アイマービー点滴静注 639	点滴静注	300mg	劇	491,823.0	ヤンセンファーマ	Nipocalimab (Genetical Recombination) 抗FcRnモノクローナル抗体製剤 ★重症筋無力症のため、FcRn阻害薬(リスティゴ)を投与しているが、治療サイクルで治療を受けていない時期に、症状が増悪し、症状が安定しない。 ★継続的な投与(定期投与)により持続的な症状改善に期待・治療にかかる拘束時間短縮 ★重症筋無力症における症状の持続的な改善、QOL・ADLの向上・他、点滴静注製剤と比べて投与時間(拘束時間)の軽減 【発売:2025/11/12】
			1200mg	劇	1,967,291.00□		

⑦院外専用医薬品（合計7品目）

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	エクテリー錠300mg 449	錠	300mg	－	344,822.10□	科研製薬	Sebetralstat 遺伝性血管性浮腫(HAE)急性発作治療用血漿カクレイン阻害薬 ★遺伝性血管性浮腫の急性発作時に用いる ★遺伝性血管性浮腫は突然全身のさまざまな臓器に浮腫が生じ、喉頭浮腫により死に至ることもある難病であり、抗ヒスタミン薬・ステロイド・アドレナリンなどの効果は全くない。本疾患の発作が自宅で生じた際の薬剤(オンデマンド薬)はフィラシル皮下注射しか存在していなかった。エクテリー錠は本疾患のオンデマンド薬として初めての経口薬であり、特に自己注射を嫌がる患者に対して処方する機会が増えると思込まれる。 【発売:2026/03/18】
7	ザスベイクアプセル30mg 117	カプセル	30mg	劇	646.8	塩野義製薬	Zuranolone アロプレグナロン様GABAA受容体機能賦活剤 ★本剤は、うつ病・うつ状態に伴う抑うつ気分、不安、意欲低下等の症状を改善することを目的として使用される。本剤はGABAA受容体機能を賦活化し、脳内神経伝達のバランスを調整することで、急性期における抗うつ症状の軽減を図るものであり、特に症状が躊躇な時期の短期治療に用いられる薬剤である。 ★従来の抗うつ薬と異なる新規作用機序を有し、比較的早期から症状改善が期待できる点が必要性の大きな理由である。既存薬は効果発現まで数週間を要する場合が多く、効果不十分例も存在するのに対し、本剤は抑うつ症状の速やかな軽減を図ることが可能であるため、新たな治療選択肢として必要とされる薬剤である。 【発売:2026年 3月19日】
7	イセルティ錠100mg 249	錠	100mg	劇	429.1	キッセイ薬品工業	Linzagolix Choline GnRHアンタゴニスト ★子宮筋腫患者の諸症状改善(過多月経、貧血、疼痛)、子宮筋腫患者の術前投与(筋腫核体積縮小) ★本剤は過多月経を伴う子宮筋腫患者に対する有効性を評価する臨床試験でリュプロレリン酢酸塩に対する非劣性が検証された他、筋腫核体積において12週で-47.65%、24週で-53.30%の減少が認められている。 また本剤は食前食後を問わず服用可能である。子宮筋腫に伴う諸症状でお困りの方や術前投与、嚥下剤服薬アドヒアランス不良の方にとって新たな子宮筋腫治療薬の選択肢になると考えられることから採用を希望する。 【発売:2026/03/19】
7	モビコール配合内用剤HD 235	内用剤	HD	－	107.5	持田製薬	慢性便秘症治療薬 ★慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く) ★モビコールHD1包は、LD2包に該当する。モビコールHDはLD1に比べ、溶解の手間が軽減され、袋がかさばらず持ち運びでの利便性向上、LD2包よりHD1包の方が薬価負担も軽減されるため。 (※LD1包59.30円、HD1包107.50円) ※常備採用医薬品としてモビコール配合内用剤LDの採用あり 【発売:2022年 5月20日】
7	イブランス錠125mg 429	錠	125mg	劇	20,538.90□	ファイザー	Palbociclib 抗悪性腫瘍剤(CDK4/6阻害剤) ★ホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能または再発乳癌 ★ホルモン受容体陽性HER2陰性の手術不能・再発乳癌の一次治療には、CDK4/6阻害薬パルボシクリブ(イブランス錠)が使用されている。一次治療のためイブランス錠の使用頻度は一定数あるが、第二外科では外来処方を行っていないため、院外専用医薬品採用の申請に至った(ツカイザ錠の新規申請に伴う措置。) ※常備医薬品から院外専用医薬品へ移行 【発売:2020/07/28】
7	ジェセリ錠40mg 429	錠	40mg	劇	6,265.0	大鵬薬品工業	Pimitespib 抗悪性腫瘍剤(HSP90阻害剤) ★切除不能GISTに対するlate line の抗腫瘍治療のため ★これまでGISTの治療としてはイマチニブ、スニチニブ、レゴラフェニブが承認されているがこれらに対し不応、不耐の患者さんにとって腫瘍制御のために必要であるため。 【発売:2022/08/30】

7	デュファストン錠5mg 247	錠	5mg	－	23.3	大鵬薬品工業	Dydrogesterone レトロプロゲステロン製剤 ★生殖補助医療の調節卵巣刺激下における早発排卵の防止 ★現在、生殖補助医療の調節卵巣刺激下における早発排卵の防止にはプロベラ錠を用いている。しかし、同薬にて副作用が出現した場合、内服継続が困難となる。その際の代替薬は当院で処方可能な薬剤には存在しない。デュファストンは代替薬となり、上記のような患者に対して処方するために新規採用を要する。 【発売:1965/10】
---	--------------------	---	-----	---	------	--------	--

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計3品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	カトビスト静注1.0mol/Lシリンジ5mL	静注	5mL	－	アムベルビスト静注シリンジ5mL採用の場合、削除
1	カトビスト静注1.0mol/Lシリンジ7.5mL	静注	7.5mL	－	アムベルビスト静注シリンジ7.5mL採用の場合、削除
1	ホルマリン・グアヤコールFG「ネオ」	外用	15mL	－	セフトカイン配合注カートリッジ採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計8品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アリナミン注射液10mg	注	10mg	－	アスタット軟膏1%採用のため、区分6へ移行
1	アロンアルファA「三共」	外用	－	－	アムウトラ皮下注25mgシリンジ採用のため、削除
1	ポリスチレンスルホン酸Na「フソー」原末	散剤	－	－	キンダリー透析剤AF5号(6L)採用のため、削除
1	カタプレス錠75μg	錠	75μg	－	トパストン散98.5%採用のため、削除
1	セルシン散1%	散剤	10mg/g	向	トルミカムシロップ2mg/mL採用のため、削除
1	ケイキサレートドライシロップ76%	ドライシロップ	3.27g	－	カリメート経口液20%採用のため、削除
1	エンズプリング皮下注120mgシリンジ	皮下注	120mg	劇	エンズプリング皮下注120mgオートインジェクター採用の場合、削除
1	イブランス錠125mg	錠	125mg	劇	ツカイザ錠50mg採用の場合、区分7へ移行

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

⑪緊急使用医薬品(合計3品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	ジエセリ錠40mg 429	錠	40mg	劇	6,265.0	大鵬薬品工業	Pimitespib 抗悪性腫瘍剤(HSP90阻害剤) ★切除不能小腸GISTと診断、グリベック開始。有害事象のため、減量しながら継続。病勢進行のため、スーテント開始。病勢進行のためスチバーガに変更。CTにてPD判定であったが、患者さんが治療継続を希望。 ★腫瘍の制御による延命 【発売:2022/08/30】
11	レギュニール HCa 2.5腹膜透析液 UVツインバッグ1.5L 342	腹膜透析液	1.5L	－	1,231.0	バクスター	腹膜透析用剤 ★慢性腎不全で当科フォロー中。テコファカテーテル留置術施行以降、レギュニール1.5%を使用したCAPDを実施しているが排液不良となり、この度緊急入院のもと腹膜透析カテーテル位置修正術施行。 しかしながら、現在に至っても除水量は不十分である。 ★当院採用の1.5%では除水が不十分であるため。 ★慢性腎臓病に対して腹膜透析によるコントロールが可能である。 【発売:2014/02/14】
11	ステララ点滴静注130mg 399	点滴静注	130mg	劇	178,043.0	ヤンセンファーマ	Ustekinumab (Genetical Recombination) ヒト型抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤 ★小児クローン病の患者。インフリキシマブを導入していたが血液検査で炎症反応上昇を認めた。その後も炎症反応は横ばいで推移したため、インフリキシマブ投与を6週間毎としたが、明らかな改善はなかった。下部消化管内視鏡検査を実施し、パウヒン弁や回腸末端部に一部縦走傾向を伴う多発潰瘍を認め、S状結腸や直腸にもびらん、アフタを認めた。上記経過より、治療変更が必要と判断した。 ★難治性潰瘍性大腸炎に対しては他の選択肢としてスキリージ、リンホックなどが選択肢として上がるが、小児における治療経験が少なく、安全性、効果を考慮すると本剤が選択肢となる。 ★5-ASA製剤、ステロイド、抗TNFアルファ抗体製剤など、既存治療で十分な治療効果の得られない難治性潰瘍性大腸炎に対して、臨床的寛解率や内視鏡的粘膜治癒率を有意に改善する。 ※常備採用医薬品としてステララ皮下注45mgシリンジの採用あり 【発売:2017/05/24】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。
麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)

2)販売中止に伴う代替薬の採用について

供給停止薬		代替薬	
ヘパリンナトリウム注 5千単位/5mL「AY」(215円)	→	ヘパリンナトリウム注 5千単位/5mL「YD」(215円)	2026年5月29日切替済
ビタミン注射液500mg (104円)	→	アスコルビン酸注射液500mg「トーワ」(104円)	2026年6月3日切替済
イソジンシュガーペースタ軟膏(7.2円)	→	ホピシュガーペースタ軟膏(7.2円)	2026年6月19日切替済
トブトレックスキット点滴静注用600mg(1575円)	→	トブタミン点滴静注液600mgキット「VTRS」(1594円)	2026年6月24日切替済

3)供給停止に伴うオーダー一時停止について

オーダー一時停止薬	
ケナコルト-A筋注用関節腔内用水懸注40mg/1mL	→ 2026年5月29日から処方オーダー一時停止

4)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

		オーダー再開
2023年12月27日から処方オーダー一時停止	→	トコフェロール酢酸エステル顆粒20%「ツルハラ」 2026年6月11日処方オーダー再開